



◎理事會開催

昭和十五年七月二日正午、麴町區丸ノ内日本俱樂部に於て開會、水野會長、成田土木局長、谷口技監、山田(英)寛、金子、中川(正)、青山、佐上の八理事、田中道路課長外六幹事出席。

午餐の後、會長より理事會を開く旨を告げられ、昭和十四年度事務報告、二三字句の修正ありて承認、次で昭和十四年一般、特別會計決算報告承認、又昭和十五年度一般、特別會計歳入出豫算を審議、山田理事より歳入項目に關し從來通り雑收入なる項目を設けられたしとの希望意見ありて可決、更に第二十一回定時會員總會を七月十七日に開催

することに決定、午後二時四十五分散會す。

◎地方土木主任官事務打合せ

七月十二、十三の兩日内務省に於て全國地方土木主任官事務打合せが開かれたので本會は港灣協會と聯合し例年の通り事務打合せを十二日午後六時麴町區丸の内鐵道協會々館に開催し關係者を招待したが今次歐洲戰爭に於て獨逸國が電撃的策戰の擧に出て北歐に白佛に甚大なる戰果を收め得たるは第一世界戰爭の際佛軍が克くベルダン要塞を固守して獨軍を阻止し得たると同じく國內道路整備の完全なるに職由するものと認め此好機會に際し獨逸國有鐵道中央觀光局日本支局より道路に關するフェルム、獨逸大使館より戰爭ニュースフェルムを借り來りて觀覽に供した。其道路に關するものゝ内「ドイツを駛る」愉快自動車道路」の解説は次の如きものである。

△ドイツを駛る

一卷

ドイツ國有鐵道中央觀光局

梗概 全國民を擧げての集團行動によつて完成された自動車専用道路とはどんなものなるかを説明する映畫です。

○ 解説 我が國と防共協定を結んだ新興獨逸は、國民總動員を行ひ、國家機構の強化と國民生活の平和を目的として防共のバリケードを造り、その精神を高らかに揚げつゝ、一步一步根強い行進を続けつゝあります。この國家的運動のうちで、最も目覺ましいものは、全國民を擧げての集團勤行であります。

最近新しく全國七千キロ米に渡つて蜘蛛の巣の様に張りめぐらして完成した自動車専用道路の如きは、その一つの現はれであります。

○ 道路が産業文化の見地から如何に有用であるかは、今更申すまでもありませんが、この道路網が完成されたことは獨逸の一大飛躍を告げるものであります。これはヒットラー總統の計畫により、世界で一番新しい方法で完成され

たものであつて、一切交叉する事がなく、從て障礙物が御座りません。あらゆる方向に向つて特別な交通路が作られてあり、又河川山峽を横斷し更に經濟、文化、風光等に於て、重要なあらゆる都市との連絡をなしつゝ、全ドイツを横斷する大動脈をなして居ります。從て國內の人達のみならず、外國からの來遊者にとつても自動車一つあれば、明眉なドイツの風光を楽しみ乍ら旅行し、ドイツに親しむことが出来るのであります。

道路網完成の如き國家的大事業は、國民の眞剣な精神力と團結力がなくては出来ません。この完成された莫大な費用と人力とは、誠にドイツ國民の赤誠の現はれであります。

ドイツの鍵 プレーメン

ライン河畔 ケルン

ゲーテの生地 フランクフルト、アム、マイン

果樹の街 ダルムシュタット マンハイム

「思ひ出」の ハイデルベルヒ

森と葡萄園の シュツツトガルト

ハーケンクロイツ發祥の地 ミュンヘン

温泉郷 ライヒェンハル

ヒツトラーの山莊で有名な ベルヒテスガーデン

見本市で名高い ライプツヒ

美術の都 ドレスデン

商都 プレスラウ

バルチツクの要港 シュテツティーン

ベルリン 終

◎ 愉しき自動車道路 一卷

RDフィルム、リヒアルト・シャインフルーグ監督

ワルテル・グリム、ハー・オー・シユルツエ撮影

ウエルネル・ボツホヤン音楽

梗概 本映畫は自動車専用道路と、之を走る若人達の一日の行樂、並びに之より受ける精神的價値を強調するものである。

アナウンス

A 1. 國營自動車道は其の性質上世界に於ける最も安全にして且つ美麗なる交通路である。此の道路により自動車旅行者は、自身をも旅行者をも何等いためつけられることなく短時間内に、大いなる距離を後にすることが出来る。

A 2. 自動車はこの巨大なる道路網によつて、獨逸全體を走り巡る。そしてその白き線は風景によく調和する。仕事と技術と自然とが結合さるゝ所、必ず幸福なる解決がもたらされる。全く自動車旅行者は、獨逸風光を旅することによつて、異常なる印象を與へられるのである。

A 3. 公園——休息所は特別に刺戟多き場所に於ける滞在を可能ならしめる。

A 4. 自動車の發明及製造は全然新しい仕事をもたらした。沼澤は爆破され、何千といふ架橋工事が爲されねばならぬことになつた。此處に於て最も近代的な技術的手段の仲介物が必要となつた。かくて二十五萬人以上の勞働者が、この仕事に奉仕的に従事せしめられた。

A 5. 獨逸労働者の包括的な組織である「喜悅による作業」は此の自動車専用道路によつて、郷土の美を味得せんとする人々によつて初めて可能なのである。

A 6. 休息所は複雑多岐に亘る道路に設けられてゐるが、之は自動車旅行のホテルとして役立たれる。此處にミューンヘンよりザルツブルグに至る道路のキームゼーに於ける休息所を御紹介しよう。此處より獨逸アルプス及常雪を頂く高山地方へ僅かな時間で行くことが出来る。

○

確かに好参考となつたことと思はる。定刻に至り晚餐を共にし食後水野會長は「今日は各位の御上京を機とし道路改良會及港灣協會協同主催の許に本會合を催したる所御多用の上に酷暑堪へ難きに拘はらず、斯く多數の御出席を得たるは實に感謝に堪へざる所である。御承知の如く道路改良會は創立後二十年港灣協會も創立後二十年に垂んとする歲月を経たるが道路及港灣の發展は著しきものがある。之れ素より政府當局は勿論地方當局者方の御力によるのであ

るが兩會微力ながらも多少の協力を致した功績あるを思はせらるる所である。今次事變に當り出征將兵の勞苦は想像に餘りある所であつて中心から感謝せざるを得ないのである。蔣政府の潰滅は迫り來り不遠事實として現はれるが日支事變の終了は容易でなく殊に東洋の新秩序を建設する爲めには相當の長期間を要することは想像に難くはない。而かも我國としては産業の擴充國力の充實を促進し資源の開発と相待て道路に港灣に其交通機能を發揮せしめねばならぬ。兩會に於ては日滿支交通設備としての重要道路主要港灣の基礎的調査の必要を唱へたる所であるが政府當局も此處に意を用ゐらるる趣であるが、既に滿洲、支那に於ては有力な方々が其經驗と學識とを以て道路港灣等土木界に活躍せられ多大なる功績を收めつゝあるが獨逸の道路の整備に鑑みて我國に於ても道路の改良鋪裝、港灣の擴築整備に付て大に努力しなければならぬ。地方土木の任に當れる各位の御高援に依り兩會に於ても一段奮起活躍を期して居る次第であるといふ主旨を以て挨拶せられた。愛知縣土木部

長山口十一郎氏は僭越ながら來賓を代表して一言御挨拶する今日は私達の上京を機とし道路改良會港灣協會から御鄭重なる御招待に預り特に水野會長より御懇篤なる御教示を蒙り衷心から感謝措く能はざる所である道路改良會が道路の改良に港灣協會が港灣の修築整備に盡されたる二十年間の功績は今更一言するの要を見ざる所である。今や聖戰三年皇紀二千六百年の最も記念すべきの秋有力なる道路改良會及港灣協會に於かれて多々益々日滿支交通の開發整備事業に努力せらるゝ所あるは實に欣快に堪へない所である。私達また微力を盡して協力以て國運の發展に貢獻する所あらんことを期す宜しく御指導と御鞭撻を加へられんことを御願ひする。重ねて此夕の御厚情に對し篤く御禮を申述ぶる次第であるとの意を以て答辭とせられ乾杯し和氣靄々裡に散會した。

○第二十一回定時會員總會並評議員會

七月十七日午後三時麴町區丸ノ内日本俱樂部に於て第二

雜報

十一回定時會員總會茲評議員會を開く、定刻に到り水野會長議長席に就き開會の旨を宣して先づ同一事件に付ては總會並評議員會を併合開會する旨を述べて議事に入る。昭和十四年度事務報告、昭和十四年度一般特別會計決算報告昭和十五年度一般特別歳入歳出豫算及基本財産並特別積立金收支精算報告は滿場一致之を承認す。次で慣例に依り評議員會を開き任期滿了せる理事監事の互選を行ふべき旨を告ぐ、佐上評議員は此際選舉の法を用ゐず其の選任を水野議長に一任したしとの意見を述べ滿場一致之を可決す。議長は慎重に人選し之を決定すべしと述ぶ。佐上氏再び立て鐵道省運輸局長在職者は從來之を特別會員と爲すの慣例なるを以て曩に朝鮮鐵道局に轉ぜられたる山田新十郎氏の後任長崎惣之助氏を特別會員に推薦したしと述べ異誠なく可決す。次で總會を再開し議長は評議員の大多數は任期滿了せるに付き其の後任者を互選すべき旨を告ぐ、佐上氏より此際互選の法に據らず水野議長に其の選任を一任したしと述べ滿場一致之を可決す。水野議長は十分意を用ゐて選任す

る旨を告げ之れにて提案全部結了したるを以て閉會を宣し、末松階一郎氏よりの紹介に依り北九州國道増設促進期成會陳情委員の陳情を聴取し散會す。

◎昭和十四年度事務報告

道路改良計畫遂行の建議に關する件

東亞新秩序の建設は更に國防の完備、生産力擴充等國策遂行の基礎的施設としての道路の改良鋪裝の普及茲日滿支交通態勢の確立に順應して重要道路の整備調査の必須的事業なるを認め其の遂行に關する意見を政府當局に開陳することを理事會に於て決議し昭和十四年九月二十六日該意見建議書を内閣總理大臣、内務大臣、大藏大臣並企畫院總裁に提出したり。

定款の變更、細則設定の件

本會常務理事の一名は内務省土木局長を指名さるるの慣例なりしも理事選任方法にては不便なるを以て實際に適應せんが爲に定款を變更したり。又財政の鞏固的確を圖らん

が爲に基本財産並特別積立金に關する規程及財務處理規程として定款附則に據り細則を定めたり。

印刷物頒布の件

昭和十二年度に於て刊行したる「道路職員必携」は同十三年度初期に至り、既印刷の全部を頒布し其の後の申出に應ずるを得ざりしを以て頒布處理上の便利を慮り株式會社常磐印刷所内好文館に一定の條件を附し印刷賣捌方の申出を承認したり。

會員の狀況に關する件

昭和十四年度末に於ける會員數は九百八拾參名又贊助員數は參千八百貳拾五名にして前年度に比し會員は六名を減じ贊助員は六百四十九名を減じたり。

雜誌發行に關する件

機關雜誌「道路の改良」は贊助員の減少に伴ひ其の刊行部數を減少したるは寔に已むを得ざるも記事資料の撰擇に留意し内容を充實し銳意所期の目的に副はんことに努めたり。

道路功績者表彰に關する件

道路功績者表彰規程に據り道路の改良、維持、修繕並に道路愛護事業の普及等に關し功績顯著なる者に對し表彰したるは青森、宮城、秋田、福島、茨城、栃木、群馬、神奈川、富山、岐阜、静岡、滋賀、奈良、鳥取、島根、廣島、徳島、高知各縣の道路工夫百七名、個人四名、道路愛護會其の他二十七團體にして前年に比し更に一層の成績を收めたり。

◎北九州國道増設促進期成會の創立と運動

北九州の地たる内外交通の要衝に位し文化開け産業興り市勢日を遂ふて隆昌に赴き宛然一個の都市化する門司、小倉、戸畑、八幡、若松の五市茲に相連りて七十萬の人口を擁し西日本の雄都として益々今後の繁榮を豫想せらる殊に今次事變以來各種工鑛業の殷盛と内外貿易の活潑なる進展は異常なる戸口の増加となり各都市の躍進著しく爲に交通し繁盛は一層の拍車を掛け將に飽和の状態を呈し事故の頻

出、交通能力の減殺等枚擧に遑あらず之か改善は須臾も看過する能はさるところなり。

曩に政府は北九州の現状に鑑み同地方交通の發達に即應すべく關門海峡綜合改良並に關門國道及鐵道隧道の開鑿、荊田港修築等の大事業を企興せらる定に關係地方民の感謝措かさるところなり。然るに此等國策事業有終の美を濟さしめ産業の開發は素より國防上將又軍事上喫緊の要務たる道路交通の改善に付ては未だ計畫の實現を見るに至らず洵に遺憾に禁へざるなり。

近時政府部内に於ても北九州地方道路改良綜合計畫樹立の議あるやに仄聞す蓋し清鑑克く茲に及へるものとして之か實現の日こそ吾人の最も渴望して止まざるところなるも未だ其の具體化を見ず僅に既設國道に依存する状態なり然るに現在北九州を貫通する國道二號線は大體に於て幅員十米乃至十四米を出てす而も之に併用せる九州電氣軌道は一分乃至三分毎に運行を續け沿道には八幡製鐵所、陸軍造兵廠其の他大工場を有する等の爲貨客自動車の通行茲に人

馬諸車の輻輳言語に絶し、自昭和十二年至昭和十三年度平均交通事故は傷害三四七件死亡五九件に及へる状況にして速に之か整備刷新を斷行するにあらざれば到底圓滿なる道路交通を期すること能はざるのみならず荏苒之を放置せむか由々敷社會問題たり。

而も現在の國道は北九州中最人家稠密の地を縦貫せるを以て單なる之が擴張は徒に經費の増大を來すのみならず現在路線によるときは地勢上相當甚しき高低あるを免れず且つ數け所の鐵道横斷を要する等の關係上新に海岸線に沿ふ新路線建設を必要なりと認む又斯くの如くにして初めて前記關門大事業完成後に來るべき交通量の遞増に對處し交通政策の完璧を期する所以なりと認めらるゝを以て宜しく四圍の推移に立脚し速に同地方文通の根幹たるべき國道を「門司、折尾」間に増設し昭和十六年度より工事に着手せられむことを熱望する次第なりとの理由を以て、同地方選出の貴衆兩院議員門司外四市關係者縣會議員商工會議所各會社、工場等を以て北九州國道増設促進期成會を組織し其

目的達成を期して運動を開始し本月十六、七日には委員上京し、内務、大藏、陸軍、海軍、鐵道各大臣企劃院總裁前記各省政務官並關係部局に親しく陳情する所があつた。其提出せる陳情書は左の通である。

陳 情 書

日滿支三國交通ノ據點北九州ニ於ケル交通運輸ノ整備刷新ヲ斷行シ内ニ産業ノ活潑ナル進展ヲ庶幾シ外股振タル貿易ノ伸長ヲ期待シ以テ國家總力ノ擴充強化ト軍事國防ノ完璧ヲ期スル爲關門國道隧道ニ連絡シ門司市ヨリ遠賀郡折尾町ニ至ル國道ヲ新ニ増設シ昭和十六年度ヨリ之カ工事ニ着手セラレムコトヲ切望ス
右陳情候也

昭和十五年七月十六日

北九州國道増設促進期成會會長 松本健次郎

◎科學及技術團體協議會

企畫院科學部長黒田溜五興亞院技術部長宮本武之輔兩氏

より科學並技術に關係ある各種團體の連絡調整並に國策協力の活動方途等の協議を爲す爲めに七月六日各團體代表者の會合を開催する旨を以て出席方案あり本會は理事佐上信一氏及同牧彦七氏に委嘱、兩氏は右協議會に参加出席せられた。尙同會に於て全日本科學技術團聯合會を設立することとなり、設立準備委員を擧げて其の結成を進めつゝある。

◎内務省土木試驗所談話會

第二百五回技術談話會話題

昭 一五・六・二八 午後一・三〇 四・〇〇

於 内 務 省 土 木 試 驗 所 講 堂

- 一、無筋コンクリートアーチの構造と實施の成績に關する
考察 (二〇分) 藤 森 技 師
- 二、地震時に於ける港灣岸壁の受くる土壓とその分布並に岸壁の合理的構造 (二〇分) 松 尾 技 師
- 三、組合壓縮材の挫屈と繞片の挫屈との關係

(二〇分) 横 田 技 師
四、交通經濟の解析的取扱に關する一例(國際水運會議報告書より) (三〇分) 横 田 技 師

五、北支土木工作の機構と活動の全貌 (三〇分) 小 澤 久 太 郎 氏
六、東亞新秩序達成のための政治、經濟、建設の併進並にその土木建設の計畫とその進捗 辰 馬 錄 藏 氏

◎近刊圖書雜誌 (交換寄贈)

○土木工業 (第二卷六號)

(今村信男氏) 皇陵巡拜記。米國クイールス・ミツドク

ウン隧道の新設工事)

○港灣 (第一八卷七號)

○水利と土木 (第一三卷七號)

(内海宏氏) 群馬縣吾妻川の毒水混和試験を觀る)

○都市問題 (一五、七月號)

(大塚辰治氏) 切符制の實施と町會の檢討)

○セメントコンクリート道路(六一號)

(近藤泰夫氏Ⅱノイルコンクリート試験鋪裝報告)

○電氣通信學會雜誌(第二〇七號)

○土木建築工事畫報(七月號)

○企畫(第三卷四號)

(佛國に於ける戰時經濟及財政々策の進展)

○斯民(七月號)

(府縣制發布五九周年記念座談會(一))

○警察協會雜誌(七月號)

○法律時報(七月號)

○セメント界黨報(第一二八八號)

○三田學會雜誌(六月號)

○建設(五月號)

○地方行政(滿文版三、四號邦文版五號)

○土木學會雜誌(第二六卷六七號)

○東京市政年報土木篇(昭和十三年度)

○國防科學雜誌「機械化」(五月號)

○清和(第七卷六號)

○鐵道軌道經營資料(六月號)

○北海道帝國大學「工學部紀要」(第六冊一號)

○軍需工業利潤統制案の吟味

○日本ポルトランド同業會增補圖書目錄

○自警(七月號)

○技術評論(七月號)

○乘合自動車(六月號)

(八木鶴藏氏Ⅱ適正運賃に就いて)

○道路(七月號)

(金子源一郎氏Ⅱ道路標識)

○石油時報(七月號)

○汎交通(七月號)

(日本史上の三大國難と三大改革)

○大阪商工會議所月報(第三九八號)